

福岡県のエネルギー

福岡県では、地球に優しく、安定してエネルギーが使える環境づくりに取り組んでいます。わたしたちの身近なエネルギーについて学んでみましょう。

エネルギーってなんだろう？

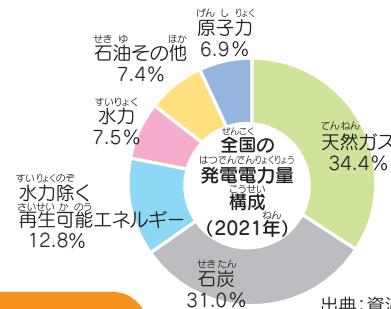
明かりをつけたり、お湯を沸かしたり、車を動かしたりする力のことを「エネルギー」というよ。「仕事をする力」ともいうんだ。

エネルギーはどうやってつくるの？

わたしたちにとって一番身近なエネルギーは電気だね。電気の多くは天然ガスや石油、石炭を燃やしてつくるんだ。天然ガスや石油、石炭には限りがあるから、大事に使わないといけなないね。

これからのエネルギーを見てみよう

身近なエネルギー



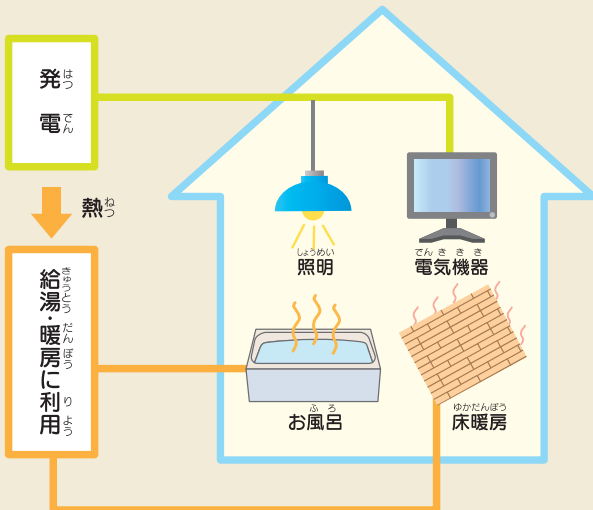
石油は残り約50年で使い終わってしまうといわれているよ。



出典：資源エネルギー庁HP 公開資料(県で一部加工)

エネルギーを無駄なくかしく利用 「コージェネレーションシステム」

コージェネレーションシステムとは、電気と熱を同時につくるシステムのことだよ。電気をつくり、その時に出る熱で部屋を暖めたり、お湯を沸かしたりすることができて、とても環境に優しいんだ。



自然からつくるエネルギー 「再生可能エネルギー」

太陽や風、川を流れる水の力などでつくられるエネルギーのことだよ。

電気をつくる時に、地球温暖化の原因となる二酸化炭素をほとんど出さないし、資源がなくなることを心配しなくていいんだよ。

県内の再生可能エネルギー発電設備導入容量は全国7位で、福岡県はとても進んでいるんだ。

太陽の光から電気をつくる
太陽光発電

北九州市 市民太陽光発電所 (北九州市)

風の方で電気をつくる
風力発電

北九州響灘風力発電所 (北九州市)

水の力で電気をつくる
水力発電

白糸の滝 小水力発電所 (糸島市)

木や生ごみなどで電気をつくる
バイオマス発電

おおき循環センター「くるるん」(犬木町)

